



2009年9月3日

各位

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 会社名   | 新日鉱ホールディングス株式会社        |
| 代表者名  | 代表取締役社長 高萩光紀           |
| コード番号 | 5016 東証一部・大証一部・名証一部    |
| 問合せ先  | 取締役 総務グループ 総務担当 加賀美 和夫 |
| 電話    | 03-5573-5129           |

#### 当社連結子会社における

使用済みリチウムイオン電池等からの「有価金属回収に向けた実証化試験」の開始について

当社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：高萩光紀）の連結子会社である日鉱金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：岡田昌徳）は，このたび，使用済みリチウムイオン電池およびリチウムイオン電池用の廃正極材からコバルト，ニッケル，リチウムおよびマンガンを回収する実証化試験を実施することといたしましたので，別添のとおりお知らせします。

2009年9月3日

報道各位

新日鉱グループ

**日鉱金属株式会社**

使用済みリチウムイオン電池およびリチウムイオン電池用の廃正極材からの  
「有価金属回収(リサイクル)に向けた実証化試験」の開始について  
～2011年を目途に事業化を目指す～

日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目 社長:岡田昌徳 以下「当社」)は、使用済みリチウムイオン電池およびリチウムイオン電池用の廃正極材(以下「使用済み電池等」)からコバルト、ニッケル、リチウムおよびマンガン(以下「当該有価金属」)を回収する実証化試験(以下「本試験」)を実施することといたしました。

また、当社では、本試験終了後、2011年を目途に当該有価金属回収の事業化を目指すこととしております。リチウムイオン電池からのリチウムおよびマンガンを回収する技術については、基礎的な技術は確立しており、実用化すれば世界初となります。

携帯電話、パソコン等の電子機器に広く利用されているリチウムイオン電池は、今後、低炭素社会構築において普及が期待されている電気自動車・ハイブリッド車等の次世代自動車用の車載用電源としての需要の急増が見込まれています。一方、その原料となる当該有価金属の内、特にリチウムについては、現在日本は全量を輸入に依存しており、その産出地域が偏在し、かつ産出量は僅少です。かかる状況下、使用済み電池等からリチウムを回収し、リチウムイオン電池に再利用するリサイクル技術の確立は喫緊の課題となっています。

当社はかねて金属製錬事業および環境リサイクル事業等で培った技術を応用した使用済み電池等からの当該有価金属の効率的な回収技術の確立に取り組んでいました。今般、経済産業省の産業技術開発事業として公募された「リチウムイオン電池からのレアメタルリサイクル技術開発の委託先」として採択され、当社関連会社の日鉱敦賀リサイクル株式会社(本社:福井県敦賀市 社長:小笠原正俊)構内にパイロットプラントを建設し、早稲田大学および名古屋大学と共同して本試験を行うこととしています。

なお、当社は、磯原工場(茨城県北茨城市)において製造しています車載用リチウムイオン電池用正極材の増産を計画しております。回収した当該有価金属は、同工場およびその他の正極材メーカーなどに供給することを考えています。

当社は、本試験を通して本技術の事業化を推進することにより、資源循環型社会の構築に貢献してまいります。

以上

【お問い合わせ先】

日鉱金属株式会社 総務部総務担当 河田、榑崎  
TEL: 03-5573-7223

(別紙) パイロットプラントの概要

1. 立地

日鉱敦賀リサイクル株式会社構内  
(住所：福井県敦賀市若泉町1番地)

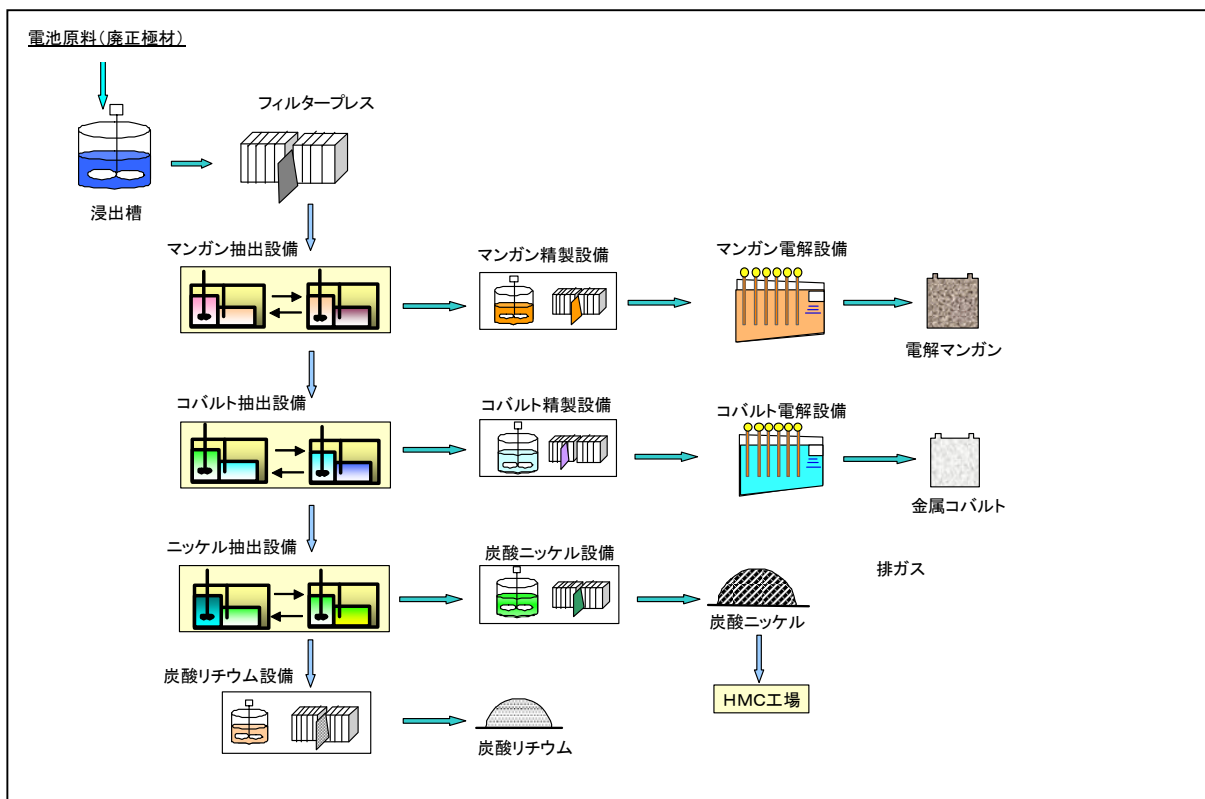
2. 主要設備

前処理・浸出設備，溶媒抽出設備，電解設備，建屋等

3. 設備規模（回収量予定）

ニッケル 6 t / 月， コバルト 10 t / 月，  
マンガン 6 t / 月， 炭酸リチウム 10 t / 月

4. リチウムイオン電池（廃正極材）のリサイクルプロセス概念図



5. パイロットプラント 完成予定図

